

資料回収が完了すれば、尚いろいろな事が判明するだろう。

27. 神戸市における中学校高等学校生徒の食生活 に対する一考察（第3報）

甲南女子学園 ○松井 和子
草間 操

1. 研究の目的は前回同様である。

2. 第1報にひきつづき第2報は本学園以外の私立、公立中学校、高等学校の男子、女子の生徒、合計1058名につき調査した結果は関西支部研究発表会でのべた通りである。今回は更に対象を小学5年生、中学2年生、高等学校2年生、大学2年生、男女各々150名を対象に前回と同じ様な調査用紙を配布した。

3. 調査用紙回収が完了していないので9月上旬にならないと完成されないが今までの回収されたものでは高学年になる程、個人差が少なく、量よりも質及び風味あるものを好む傾向があり、低学年程、量的、色彩的に豊富なるものを好み、個人差がはなはだしい。又性別により地域的により、家庭における食習慣が食物の嗜好に及ぼす影響が大きいことも認められた。